

協働による環境学習推進事業

1. 事業の概要

ごみ処理や景観などの身近な問題から地球規模の環境問題に至るまで、幅広く複雑多岐にわたる環境問題の解決には、県民一人ひとりの参加と多様な主体の協働による取組を地域において進めることが大切であることから、県では、身近な地域のNPO等の環境団体同士が情報交換をする場として平成20年に「岡山県環境学習協同推進広場」を設け、広場参加団体から講師を派遣して行う環境学習出前講座など、関係団体と行政との協働による環境学習を推進しています。

2. 平成24年度実績

- ・環境学習出前講座の実施 205回（温暖化27件、エネルギー53件、自然82件、ごみ21件、その他22件）
- ・環境学習指導者の研修実施 4回（5/26, 6/30, 11/1, 3/9）



<エネルギー体験（太陽光）>



<4Rの話>

担当部署

環境文化部 環境企画課 地球温暖化対策室

環境学習エコツアー事業

1. 事業の概要

環境問題に対する正しい理解と環境意識の高揚を図るため、小中学生や地域団体等を対象に、環境関係施設を見学、体験する「環境学習エコツアー」を実施しています。

2. 平成24年度実績

参加者 3,837名



担当部署

環境文化部 環境企画課 地球温暖化対策室

アースキーパーメンバーシップ推進事業

1. 事業の概要

地球温暖化を防ぐため、地球に優しい生活に取り組む人たちを、地球（アース）を守る人（キーパー）として会員登録する制度で、会員がそれぞれの目標に取り組んだ1年間の取組結果（CO₂削減量）を計算し、お知らせします。

2. 平成24年度実績

会員数 10,655会員（県民版10,145、事業所版510）



担当部署

環境文化部 環境企画課 地球温暖化対策室

地球温暖化防止活動推進員支援事業

1. 事業の概要

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、県では、地球温暖化に関する現状・知識の普及、対策の推進を図るため平成14年から「地球温暖化防止活動推進員」を委嘱しています。

現在、県下で活動している推進員は91名で、地球温暖化防止や環境保全、ゴミ・リサイクルなどの分野について、それぞれの地域や学校での講師活動や啓発イベントの手伝い、その他の普及啓発活動等にボランティアとして取り組んでおり、県では推進員研修会の実施等によりその活動を支援しています。

2. 平成24年度実績

- ・推進員研修の実施 4回（7/22, 7/28, 12/15, 3/20）
- ・啓発関係資材等の整備（温暖化防止パネル作成、3R・低炭素社会検定公式テキスト購入）
- ・推進員プロフィール集作成



< 推進員研修会 >



※地球温暖化対策室HPに掲載

担当部署

環境文化部 環境企画課 地球温暖化対策室

児島湖ヨシのリサイクル事業

1. 事業の概要

ヨシ群落は、児島湖の水鳥・魚類の繁殖の場として重要な役割を担っており、このヨシ群落を良好な状態に保つためには、枯死茎の刈取りによる株の再生を行うことが必要とされています。また、湖水に含まれる窒素分やリン分を吸収して成長するヨシを冬季に刈り取り、持ち出しすることが児島湖の水質保全に役立ちます。

そこで、ヨシの刈取り及びごみの清掃を行うとともに、刈り取ったヨシを廃棄物として処分するのではなく、リサイクルし、有効に活用しました。また、小中校生にそれらの一部を体験する機会を設けて、環境保全意識の啓発を図りました。

2. 平成24年度実績

(1) ヨシの刈取り及びごみの回収

平成24年度は、総面積39,125m²、総重量53,000kgのヨシを刈取りました。また、ヨシの刈取りとともにごみの回収作業を行い、ビン類や缶類などの不燃物約220kgを回収し、民間処理施設で処理しました。

《ヨシの刈取り（岡山市北区北七区）》



《回収した不燃ゴミ》



(2) ヨシを活用したリサイクル品

刈り取ったヨシを「バイオマス資源」としてリサイクルすることで、廃棄物を使用した製品開発や再生資材の利用を促進し、広くその利活用方途の普及を図りました。

その再生利用の一環として、マルチング材（土表面に敷き詰め、土の乾燥や雑草の繁殖を防ぐ）や堆肥として利用しました。また、刈り取ったヨシとプラスチックを材料にヨシ箸を作成し、飲食店に配付することで児島湖ヨシのPRを行いました。

その他にも、茅葺き屋根の材料や田圃の暗渠排水材料として利用されています。その内訳は以下のとおりです。

【利用方法】

マルチング材	13,000kg
千両ナス栽培（支柱、堆肥等）	23,400kg
ヨシ箸	1,000kg
茅葺き屋根	4,800kg
その他農業用資材（堆肥を含む）	10,800kg
計	53,000kg

《マルチング材として利用》



《千両ナスの堆肥として利用》



《飲食店に配布したヨシを材料にしたヨシ箸》



(3) ヨシ刈り体験・リサイクル体験

児島湖に親しんでもらうとともに、環境保全意識の啓発を図るために、中高生を対象にヨシの刈り体験を実施し、小学生を対象にヨシを利用したリサイクル体験（工作教室）を実施しました。

《ヨシ刈り体験を行う八浜中学校の皆さん》

ア ヨシ刈り体験

岡山県立津山工業高等学校工業化学科の1年生40名と玉野市立八浜中学校の1年生18名にヨシの刈り体験してもらいました。



イ リサイクル体験（工作教室）

刈り取ったヨシを利用して、ヨシ笛やペン立てなどの工作に取り組んでももらいました。岡山市立七区小学校で行われたヨシ工作教室には3年生児童25人及び保護者・近隣住人の方々に参加していただきました。真庭市立川東小学校で行われた工作教室には4年生児童25人に参加していただきました。

《ヨシの工作を行う 七区小学校の皆さん》



《ヨシを使った笛や ペン立て、額等》



担当部署

環境文化部 環境管理課 水環境湖沼保全班

ごみゼロ社会推進事業（プロジェクト推進会議）

1 事業の概要

県内の廃棄物の発生抑制、再使用及び再利用を県民総ぐるみで推進するために設置した岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議により、各種計画の策定及び施策の企画立案等を行う。

2 平成 24 年度実績

平成 24 年 4 月 26 日 委員 12 名が出席し、第 1 回会議を開催した。

議題：Ⅰ 平成 23 年度 of 取組実績について

1 会議の開催

2 重点取組事業

(1) おかやま・もったいない運動の推進

(2) マイバッグ運動の推進・レジ袋削減事業の実施

Ⅱ 平成 24 年度 of 取組（案）について

1 会議の開催

2 重点取組事業

(1) おかやま・もったいない運動の推進

(2) マイバッグ運動の推進・レジ袋削減事業の実施

3 担当部署

環境文化部循環型社会推進課資源循環推進班



ごみゼロ社会推進事業（岡山県エコ製品の認定・PR）

1. 事業の概要

岡山県循環型社会形成推進条例第23条に基づき、平成14年10月に策定した「岡山県再生品の使用促進に関する指針」の周知徹底を図るとともに、条例に基づき創設した岡山県エコ製品認定制度の適正な運用を図ることにより、再生品の需要を喚起し、資源の循環的な利用を促進します。

2. 平成24年度実績

○岡山県エコ製品の認定等

グリーン購入対策会議を年2回（8月、2月）開催し、岡山県エコ製品の認定や品目の追加を行っています。

認定件数 396件（167事業者） 平成25年4月1日時点

○岡山県エコ製品等再生品の普及

巡回エコ製品等普及展示会等のイベントの開催、県の環境イベントでのPR、岡山県のホームページへの掲載、広報誌によるPR、認定製品リストの作成・配布等により、再生品のPRに努めるとともに、岡山県エコ製品をはじめとする再生品の使用を県民、事業者及び市町村へ働きかけます。

①環境イベントでの展示会

- ・6月10日 津山親子エコフェスタ2012
- ・7月28日、29日 巡回エコ製品等普及展示会（夏休みエコランド）
- ・11月11日 第7回おかやま・もったいない晴れの国フォーラム

②新聞紙面への掲載（年2回 10月、3月）

③エコ製品リストの作成



新聞掲載広告



認定マーク

担当部署

環境文化部 循環型社会推進課 資源循環推進班

循環資源情報提供システム整備事業

1. 事業の概要

岡山県循環資源総合情報支援センターは、廃棄物の適正処理に関する情報や循環型社会形成のために必要なリサイクルや適正処理などに関する情報を提供する、県の指定を受けた公益財団法人岡山県環境保全事業団が提供するサイトです。

2. 情報提供の内容

○産業廃棄物処理業者等に関する情報

岡山県、岡山市、倉敷市が許可した産業廃棄物処理業者を検索することができます。また、岡山県、倉敷市が産業廃棄物収集運搬業者及び産業廃棄物処分業者（特別管理を含む。）に対して行った行政処分等について公表しています。

○循環資源マッチング制度

事業活動に伴って排出される廃棄物を他の事業者を利用してもらうようマッチング（あっせん）を行うことで、循環資源を有効に活用し、循環型社会の形成を推進します。



岡山県循環資源総合情報支援センターHP



産業廃棄物処理業者：検索画面

【関連のページ】

岡山県循環資源総合情報支援センター

URL : <http://junkan.okix.jp/junkan/home/Home!Index.do>

担当部署

環境文化部 循環型社会推進課 資源循環推進班

おかやま・もったいない運動推進事業

1 事業の概要

「もったいない」をキーワードとして、循環型社会の形成に向けた「3R」（発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル））についての県民一人ひとりの意識改革と実践行動を促すため、「おかやま・もったいない運動」を推進する。

2 平成 24 年度実績

- ①第7回おかやま・もったいない晴れの国フォーラムの開催
ア 日時 平成24年11月11日（日）10：00～17：00
イ 場所 岡山コンベンションセンター 1階 イベントホール・ロビー
ウ 大会テーマ はじめよう！一人ひとりの“もったいない”
エ 主催 岡山県、岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議、地球温暖化防止プロジェクト推進会議、（公財）岡山県環境保全事業団
表彰式、トークショー、キャラクターショー、展示 など
- ②おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクールの開催
応募数 64校、702作品
- ③おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテストの開催
応募数 17校、329点
- ④おかやま・もったいない！手作りマイバッグコンテストの開催
応募数 21校4市町、137点



3 担当部署

環境文化部循環型社会推進課資源循環推進班

エコタウン推進事業

1 事業の概要

平成16年3月に国から承認された「岡山エコタウンプラン」に基づいて、同プランに盛り込まれた各種民間ゼロエミッションプロジェクトの進行管理や支援事業を実施するとともに、産学官県民一体となったソフト事業を実施して、環境調和型まちづくりを進めています。

①エコタウン推進組織の運営

事業全体の推進、進行管理の組織として、学識経験者、関係事業者、行政等で組織する「岡山エコタウンプラン事業推進委員会」を設置しており、岡山エコタウンプランの総合的な取り組みを推進しています。

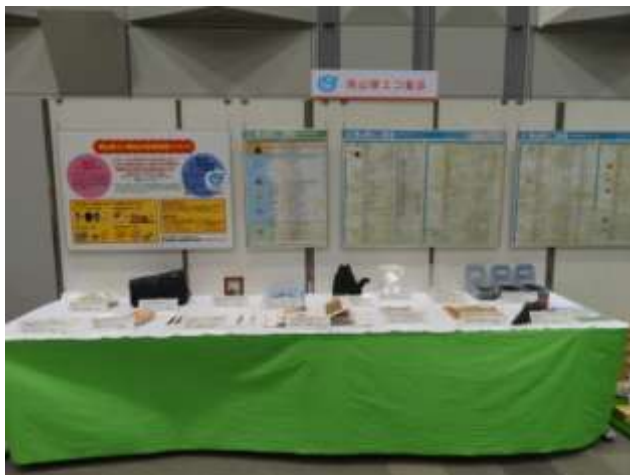
②エコタウンソフト事業

エコタウンのパンフレット等で岡山エコタウンプランの一層の周知を図ります。また、岡山エコタウンプランの普及啓発、併せてエコ製品やエコ事業所の普及促進のため、県内を巡回し展示会を開催しました。

2 平成24年度実績

巡回エコ製品等普及展示会の開催

- ・6月10日 津山親子エコフェスタ2012
- ・7月28日、29日 巡回エコ製品等普及展示会（夏休みエコランド）
- ・9月25日～28日 ミニ展示会
- ・11月11日 第7回おかやま・もったいない晴れの国フォーラム



巡回エコ製品等普及展示会



夏休みエコランド（チラシ）

3 担当部署

環境文化部循環型社会推進課資源循環推進班

エコライフ推進事業

1 事業の概要

自らのライフスタイルを見直し、家庭ごみの排出抑制（Reduce）を図る契機とするため、買い物にマイバッグを持参し、レジ袋の受取を辞退する普及啓発活動を推進する。

2 平成 24 年度実績

①レジ袋無料配布中止（有料化）の協議

レジ袋の無料配布中止（有料化）について、「レジ袋削減検討会」において検討した。平成 24 年 11 月実施を予定していたが、見送りが決定された。

②岡山県統一ノーレジ袋デーの取組

- ・毎月 10 日を「岡山県統一ノーレジ袋デー」と定め、事業者、消費者・環境団体、市町村と協働で、買い物の際に「レジ袋を受け取らないようにする運動」を展開し、レジ袋削減に対する県民意識の向上を図る取組を実施した。

参加店舗数：1, 407 店舗（平成 25 年 2 月現在）

レジ袋辞退率：27.2%（平成 25 年 2 月現在）

- ・事業者への啓発資材の送付、小学 4 年生への缶バッジ（マグネットタイプ）配布を行った。
- ・新聞・雑誌等への広告掲載や 6 月 10 日の前後 1 週間程度、普及啓発活動を実施するとともに県及び各市町村発行の広報紙等において広報を行った。
- ・マイバッグ持参率等を把握するため、平成 25 年 2 月下旬～3 月上旬に、県内 9 店舗でマイバッグ持参率等アンケート調査を実施した。

ノーレジ袋デーの認知率 56.2%

マイバッグ持参率 43.3%



3 担当部署

環境文化部循環型社会推進課資源循環推進班

里海保全活動支援事業（海面アダプト事業）

1. 事業の概要

〔趣旨〕

海面アダプト事業は、海面の利用機会が多い、海洋レジャー関係の団体等が県及び市の支援の元に、ボランティア活動として海面の清掃美化活動を行い、もって瀬戸内海的环境保全を推進することを目的としており、平成15年度から実施しています。

〔方法〕

活動団体と地元市、県の3者で活動に関する合意書の締結を行ったうえで、活動団体が船舶を使用して海面に浮遊しているごみを回収し、地元市の支援のもとに処分します。県は、清掃活動に必要な清掃用具の購入費等について助成しています。

〔活動団体〕（2団体）

- 1 岡山県東部地区小型船安全協会（岡山市）
- 2 岡山県西部地区小型船安全協会（倉敷市）

2. 平成24年度実績

〔日時〕平成24年7月26日（木）、7月27日（金）、9月28日（金）

〔場所〕1 岡山県東部地区小型船安全協会：岡山港周辺海域
2 岡山県西部地区小型船安全協会：児島港、水島港（玉島地区）周辺海域

〔内容〕1 参加者及び船舶数：延べ95名、15隻
2 回収ごみの量：2トン車4台
（ビン・カン8%、流木・草62%、ビニール・発泡スチロール19%、ペットボトル10%、その他1%）



担当部署

農林水産部 水産課 振興班

海ごみ普及啓発事業

1. 事業の概要

海底ごみや漂着ごみ等の海ごみが漁業や自然保護上の問題になっています。家庭由来のものが多いこと、海岸でのレジャーや景観上問題があることから、海ごみは漁業者だけではなく県民全般に係る問題です。

海ごみの発生を抑えていくために、底びき網の漁業体験や海岸での生物観察会、広報活動等を通じてその実態を知ってもらい、県民のごみに対する意識改革や環境問題への関心の向上を図ります。

2. 平成 24 年度実績

NPO 団体等に委託して、イベント等を開催しました。

< 東部 >

〔委託先〕 NPO 法人グリーンパートナーおかやま

〔内 容〕平成 24 年 10 月 14 日に備前市日生町で底びき網体験学習と海岸での生物観察会を実施しました。また、海ごみ問題を題材にした環境教材エプロンシアターを保育園で上演し、園児と意見交換を行いました。

< 西部 >

〔委託先〕公益財団法人水島地域環境再生財団

〔内 容〕平成 24 年 9 月 22 日に浅口市寄島町で海岸での生物観察会を、11 月 17 日に底びき網体験学習を実施しました。また環境啓発イベントでの海ごみ展示や海底ごみ啓発ビデオの作成等も行いました。





担当部署

農林水産部水産課振興班

スーパーエンバロメントハイスクール研究開発事業

1. 事業の概要

廃棄物のリサイクル技術の研究・開発など環境教育を重点的に行う学校をスーパーエンバロメントハイスクールに指定し、カリキュラムの開発、大学や研究機関との効果的な連携方策等について研究を推進し、課題に気づき、その解決に積極的に取り組むことのできる人材の育成を図るとともに、環境教育に関する教材を開発しています。

2. 研究開発実施校

○岡山工業高等学校（平成22～24年度）

校内や地域から出るコンクリートなどの廃棄物をリサイクルして、再生コンクリートを製造する研究に取り組んでいます。

平成24年度は、製造した再生コンクリートを使ったベンチやテーブルなどの製品を、地域の小学校や幼稚園へ寄贈するなど、啓発活動に取り組みました。



○笠岡工業高等学校（平成22～24年度）

岡山県の特産品であるカキの殻を原料として、魚礁ブロックやアマモ養殖板を製造する研究に取り組んでいます。

平成24年度は、大学と連携して製造した魚礁ブロックを、地域の漁業協同組合と連携して笠岡沖に設置しました。さらに、海の現状の調査、アマモ養殖板の実用試験などに取り組んでいます。



○高梁城南高等学校（平成24～26年度）

ヒラタケ等の菌床栽培によって発生する廃オガクズを、ペレットストーブの燃料や、日本の伝統建材である三和土（たたき）や漆喰（しっくい）の材料として再利用する研究に取り組んでいます。

平成24年度は、ペレット燃料の燃焼試験や三和土（たたき）ブリックの強度調査などに取り組みました。



担当部署

教育庁 高校教育課 職業指導班

高校生「エコ広場」UD整備事業

1. 事業の概要

高校生が自ら企画・提案し、エコ製品を活用してUDに配慮した憩いのエコ広場を整備する。

2. 平成24年度実績

平成24年度は、県立総社高等学校の1校で事業を実施した。

間伐材チップや廃ゴムチップを再利用した舗装材を敷き詰めて学校中庭の整備を行い、中庭の西側は、前方後円墳をイメージした広場を配置し、豊かな自然や歴史に思いをはせながら憩える空間とした。

また、東側は2つの校舎の動線を高梁川に見立て、学年や科を超えて出会い、時に文化・芸術活動の発表の場として集うことのできる、交流・活動の空間とした。

この事業を通じて循環型社会の形成に向けて意識を深めることができた。



総社高等学校（改修前）



総社高等学校（改修後）

担当部署

教育庁 財務課 施設班